

「巨峰」ぶぐりの一年



巨峰新聞

巨峰の仕事はまだぶどう畑に雪が積もっている2月から始まります。剪定(せんてい)といて、ぶどうの枝づくり。不要な枝を取り除きます。作業が本格化するのは芽吹き(めぶき)の5月から。6月にはぶどうの花が咲きます。房(ぶどう)の先6センチほどを残して切り落とします。7月からは一房(いちぼう)35粒になるように粒数をそろえます。一房(いちぼう)、一房(いちぼう)はさみで粒を抜く根気(こんき)のいる仕事です。

そして8月の袋(ふくろ)かけが終われば作業はひと段落。後は自然の営(い)みにバトンタッチです。おいしい巨峰(きゅうほう)に育つことを祈(いの)っています。



■ 2月の剪定(せんてい)



■ 7月暑(あつ)い中、粒(つぶ)抜き(ぬき)の作業



■ 巨峰(きゅうほう)の花(はな)はこんなに小さい



私がぶどうを栽培(かいばい)しています。

この度は私(わたし)どもの巨峰(きゅうほう)をご賞味(しょうみ)いただき、誠にありがとうございます。この度は私(わたし)どもの巨峰(きゅうほう)をご賞味(しょうみ)いただき、誠にありがとうございます。誠にありがとうございます。品質(ひんしつ)には十分(じゅうぶん)注意(ちゅうい)していますが、お気づき(き)の点(てん)などございましたらご連絡(ごんごう)いただければと存(ぞん)じます。今年(ことし)の夏(なつ)は異常(いじょう)気象(きさう)の影響(えいこう)で、長雨(ながあめ)続き(つづき)で心配(しんぱい)したのですが、八月(はちがつ)からの晴天(せいぜん)続き(つづき)で遅(おそ)れを取り戻(もど)しました。

お客様(おきゃくさま)に喜んでいただけるぶどう(ぶどう)を作(つく)らうと毎年(まいとし)それ(それ)のみを考(かんが)えて仕(し)事(ごと)をして(して)います。しかし、自然(しぜん)が相(あ)手(て)の仕(し)事(ごと)です。一年(いちねん)が挑(もく)戦(せん)です。いつまで(いつまで)も新(あたら)しい人(ひと)のつもりでいます。よろしくお願(ねが)いします。



ぶどう狩(かり)りに訪(ま)れたご家族(かぞ)。「これボク(ぼく)のぶどう！」うれしそうな子(こ)供(ども)たち(たち)の声(こゑ)。目(め)を細(こま)めて見(み)守(も)るおじいちゃん(ちゃん)。静(しず)かな秋(あき)の午(ひる)後(ご)です。



早春(そうしゅん)の浅間山(せんまやま)

私(わたし)たちの町(まち)、東御市(とうみ)市(し)は長野県(ながのけん)の東部(とうぶ)、真田幸村(まんだゆきむら)で名(な)高い上田市(かみだし)と小諸市(こもろし)の間にあります。北(きた)には浅間連山(せんまのつらね)、南(みなみ)には千曲川(ちまがわ)が流れ、南斜面(みなみさかた)の日(ひ)あたり(あたり)の良(よ)いところ(ところ)です。年間(ねんかん)降雨量(こうりゅうりやう)が少(すく)なく、信州(しんしゅう)の冷涼(れいりやう)な気候(きこう)のため甘(あま)みのある品質(ひんしつ)のよ(よ)いぶどう(ぶどう)が収(と)穫(とく)できます。

お近(き)くにお越(こ)しの折(せ)はお立(た)ち寄(よ)りください。

若林(わかしん)ぶどう園(うゑん) 東御市(とうみ)滋野乙(すけのち) 2724
〒389-0512 Tel/Fax0268(62)2070